

新宿区産業振興会議第6期報告書 骨子(案)に対する意見と報告書(案)への反映事項

[資料 2]

No.	発言委員	骨子(案)に対する意見要旨	報告書(案)への反映事項	該当ページ
1	松尾委員 長山委員 遠山委員	・「アフターコロナを見据えた施策の方向性」と章立てをしているが、コロナのみではなく、足元の物価高騰など、様々な状況変化によって危機が続いていることや、それに対するレジリエンス（回復力）の向上に触れることも必要では	第3章「現下の経済状況における課題」を新たに追加し、コロナ禍や物価高騰等で生じている課題や、困難な状況に対する回復力向上の重要性を記載	12～13P
2	横倉委員	・物価高騰でのコスト高を販売価格にどう発想を変えて転嫁していくかを考えていくことが重要	第3章の2で、物価高騰における課題として価格転嫁のための自社の磨き上げや経営基盤の強化の重要性を記載	12P
3	長山委員	・「施策の方向性」の章でいきなり創業の話から入ることが唐突に感じる	施策の方向性について、骨子案では1創業支援、2個別支援、3全体支援のつくりとしていたが、報告書案では1個別支援、2全体支援のつくりに変更し、創業支援については1(2)として記載	14～15P
4	江曾委員	・ハード面だけではなく、ソフト面の支援についても論じてもいいのでは (例) ビジネス交流会はベテラン事業者が起業家の悩みを聞く場にする	第4章の1(1)で、5年度から新たに開始する経営力強化支援事業や売上向上実践講座などのソフト面の支援について記載	14P
5	豊岡委員	・他区にはない特色が必要。エネルギー価格が高騰するなかで、脱炭素化やカーボンニュートラルを中小企業が実施するきっかけとなるような具体的な施策を出していくことが重要	第4章の1(1)で、5年度から新たに開始する経営力強化支援事業において、省エネルギー化のための設備導入支援について記載	14P
6	長山委員 富田委員	・創業支援の取り組みの方向性がこれまでと同じで新しさが感じられない	第4章の1(2)で、創業にまつわる状況の変化を踏まえて、今後創業支援のあり方を検討していく方向性を記載	15P
7	笠井委員	・創業について、若者なのか女性なのか、ターゲットを絞って新宿らしさを出すことが重要		
8	則竹委員	・創業者が成長しやすい環境づくりをどう進めていくかが重要		
9-	笠井委員	・新宿には様々なエンタメがあり、何に重きを置いて発信していくかが重要	第4章の2(1)で、エンターテインメント性溢れる新宿の観光資源を活用した新宿の魅力づくりに関する施策の方向性を記載	15P
10	伊藤委員	・若者が喜ぶような新宿らしい応援の仕方が必要	第4章の2(2)で、商店街のコミュニティ形成の場としての重要性や、区としての支援の方向性を記載	15～16P
11	富田委員	・町会や商店街間で人が集まるノウハウなどを教え合う仕組みを行政が支援することが必要	第4章の2(2)で、商店街への支援として、新宿商人を活用した成功事例の共有や、商店会サポーターを活用した支援に関する方向性を記載	15～16P
12	大神田委員	・事業承継の施策を区として打ち出すことができれば目玉になるのでは	第4章の2(3)で、金融機関等との連携ネットワークの立ち上げ、事業承継を含めた企業の課題把握や解決に取り組んでいく方向性を記載	16P